

生活単元学習学習指導案

あさひ子学級1組 4名 指導者 谷口誠二
あさひ子学級2組 4名 指導者 三浦和也

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 「見える図」を用いて思考の流れを可視化する板書は、子ども一人一人の考えを整理し、表現するための手立てとして有効であったか。

1 小単元 仲よし合同宿泊学習に参加しよう

2 目 標

集団宿泊学習に向けて入浴の仕方や寝具の整え方、学校紹介の仕方などを学習したり、集団のきまりを守って、決められた日課に沿って規則正しい生活を送ったりすることを通して、友達と助け合い、協力し合って、集団の一員として自分の役割を果たすことができるようにする。

3 小単元の評価規準

- 宿泊学習を楽しみにして、自分のことを自分でしようとしたり、級友や他校の友達と協力して活動しようとしたりしている。【関心・意欲・態度】
- 楽しく安全な宿泊学習になるように、どんな出し物をして、どんな準備をしたらよいかなどを考え、自分なりの方法で表現している。【思考・判断・表現】
- 事前学習を生かして、入浴、起床、就寝、食事など、自分のことを自分でしたり、友達と協力したりすることができる。【技能】
- 友達と協力して活動をするよさに気づき、自分でやるべきことを理解している。【知識・理解】

4 小単元について

(1) 小単元の価値

これまで、子どもたちは近隣小中学校の特別支援学級との合同宿泊学習を南薩少年自然の家を利用して毎年経験し、そのよさや楽しさを十分に味わっている。子どもたちは毎年これらの行事を楽しみにしており、カレンダーを見ながら話をする姿からもそのことが分かる。宿泊学習では級友や他校の友達と寝食を共にしながら、サイクリングやアスレチックなど様々な活動を行う。このような活動は、平素の学習では体験できない魅力的な活動ばかりである。そのため、子どもたちの宿泊学習に対する興味や関心はとても高い。

一方、今年度は4名が新たに入級し、「宿泊学習とは何だろう。」「どんなことをするだろう。」「お母さんと離れて大丈夫かな。」と不安を抱いていることも考えられる。

そこで、本単元において、2日間の活動を通し、自分の力で入浴や就寝、食事など日常生活の中で必要な知識や技能を身に付け、子ども一人一人のできることを増やすことで、自信をもち、達成感を味わうことができるようにする。また、自分一人の力では困難なことも、友達と助け合い、協力し合って解決していくことで友達と協力することのよさや集団としての自分の役割を自覚することができるようにする。そのために、事前学習では、これまでの経験や写真を基に子どもが思考する時間を確保することで、活動に対する見通しをもち、必要な準備物や気を付けることなどについて気付くことができるようにする。また、シミュレーションの時間を十分に確保することで、相手に意思を伝えたり相手の意思に答えたりできるようにする。

そのことにより、日常生活の中で子ども自ら思考し自らの答えを導き出すことができ、自分の力で生活することの自信へとつながり、友達と協力して活動することのよさや楽しさを味わうことができるものとする。さらに、これらの学習をきっかけに、学んだことを日常生活において生かそうとする姿勢が生まれ、自分の生活をより豊かにしていくことができるものとする。

(2) 子どもの実態と指導

	あさひ子1組				あさひ子2組			
	A(2年)	B(2年)	C(5年)	D(6年)	E(1年)	F(1年)	G(2年)	H(5年)
仲よし合同宿泊学習に対する興味や関心	昨年度の宿泊学習の写真から楽しかった思い出を話し、今年度の宿泊学習も楽しみにしている。	昨年度の宿泊学習の写真を見ながら今年度の宿泊学習を楽しみに待っている姿が見られる。	「宿泊学習まであと何回寝るの。」と楽しみにしている反面親と離れることに不安をもっている。	「宿泊学習はいつですか。」と教師に尋ね、宿泊学習をとても楽しみにしている。	昨年度の写真を見て笑顔は出るが、初めてのことなので親と離れることに不安がある。	昨年度の写真を見て、「おもしろそう。」「早く行きたい。」と言いつつ楽しみにしている。	宿泊学習に行くことを告げると「やった。」と言って大喜びし、実施日を答えることができる。	サイクリングやアスレチックなど、具体的な活動を楽しみにしている。

他者との関わりや表現の方法	自分から友達に話し掛けることは少ない。自分の思いを文や絵で表現することができる。	誰に対しても自分から関わろうとする姿が見られる。短い文で自分の思いを表現することができる。	特定の人に対して、関わろうとする姿が見られる。自分の思いを相手に言葉で伝えることができる。	誰に対しても親しく関わろうとする。自分の思いを言葉で相手に伝えることができる。	質問に対する受け答えはできるが、声量の調整を上手にすることができないことがある。	質問に対する受け答えはできるが、目を見て話しかけないと話しかけられていることに気付かないことがある。	自分の意思を伝えることができるが、交流学級など大勢の前では上手く伝えることができないことがある。	誰とでも積極的に関わることができる。自分の意思を言葉で伝えることができる。
---------------	--	---	---	---	--	--	--	---------------------------------------

本単元では、こうした子どもたちの実態をふまえ、宿泊学習の計画や準備を通し、主に自分の思いや考えを表出する力を身に付けるための学習活動を展開する。具体的には、これまでの宿泊学習や日常生活で学んだことを活用して身の整理の仕方を身に付けたり、学校紹介で行う出し物などの準備をしたりする活動を展開する。宿泊学習中は、自分のことは自分でできるように事前の学習を想起させ、宿泊学習後は自分でできたことを大いに認め、日常生活で活用することができるように意欲を喚起する。

5 指導計画（総時数26時間）

過程	主な学習活動	評価規準				時間
		A(2年)	B(2年)	C(5年)	D(6年)	
導入	1 前年度の宿泊学習について話し合う。 2 宿泊学習の計画について話し合う。	関：写真を見て、どんな活動をしたのか友達に説明しようとする。 知：宿泊学習の内容や宿泊学習までしなければいけないことが分かる。	関：写真を見て、楽しかった活動を発表しようとする。 知：宿泊学習の内容や宿泊学習までしなければいけないことが分かる。	関：昨年度の写真を見て活動の内容を伝えようとする。 知：宿泊学習の内容が分かる。	関：写真を見て、活動の内容を思い出そうとする。 知：宿泊学習の内容や宿泊学習までの日程が分かる。	2
		関：写真を見てやってみたい活動を選ぼうとする。 知：宿泊学習の主な活動の内容が分かる。	関：楽しみな活動を発表しようとする。 知：自分の楽しみな活動の内容や日時が分かる。	関：写真を見て、楽しかった活動を発表しようとする。 知：昨年と同じ活動の流れだということがわかる。	関：昨年、楽しかった活動を発表しようとする。 知：宿泊学習の日程や細かい活動の流れが分かる。	
展開	3 宿泊学習の準備をする。 ○ 日めくりカレンダーを作る。 ○ 日程表の確認をする。 ○ 準備するもの確認をする。(本時) ○ しおりを作る。 ○ 田上温泉に行き、入浴の練習をする。 ○ 出し物の内容を決め、練習をする。 ○ 寝床の作り方、布団のたたみ方を練習する。 ○ 汚れた衣服の整理をはじめとするバックの整理整頓を練習する。 ○ 持っていく物を実際に学校に持ってきて確認する。 ○ 出発式の準備をする。	関：宿泊学習の準備を友達と協力しようとする。 思：活動の内容から持っていく物を考えることができる。 技：友達の前で自分の間の取り方で自己紹介ができる。 知：宿泊学習に必要な物が分かる。	関：友達に教えながら宿泊学習の準備をしようとする。 思：写真等を見ながら持っていく物を考えることができる。 技：友達の前で自己紹介ができる。 知：入浴や持ち物の整理の仕方が分かる。	関：教師と一緒に宿泊学習の準備をしようとする。 思：持っていく物を教師と確認することができる。 技：教師が側にいながら友達の前で自己紹介ができる。 知：しおりや写真を参考に宿泊学習に必要な物が分かる。	関：宿泊学習の準備をしようとする。 思：友達の見聞きながら持っていく物を確認することができる。 技：教師と一緒に友達の前で自己紹介ができる。 知：しおりを参考に宿泊学種に必要な物が分かる。	10 本時
		関：宿泊学習の準備をしようとする。 思：写真を基に準備する物を考えることができる。 技：友達の前で名前と学年を言うことができる。 知：寝床の作り方や布団のたたみ方が分かる。	関：宿泊学習の準備をしようとする。 思：楽しみな活動の準備するもの考えることができる。 技：友達の前で大きな声で名前と学年を言うことができる。 知：入浴や持ち物の整理の仕方が分かる。	関：宿泊学習の出し物の練習を積極的にしようとする。 思：経験を基に準備する物を考え発表することができる。 技：友達の前で名前や好きなものを紹介することができる。 知：入浴する際のマナーが分かる。	関：就寝準備や入浴の仕方などを下級生に教えようとする。 思：昨年までの経験を基に2日間準備するもの考えることができる。 技：出発式の挨拶を覚えて、言うことができる。 知：5分前行動をする大切さが分かる。	
終末	4 宿泊学習に参加する。 ○ 出発式をする。 ○ 入所式をする。 ○ 食事をする。 ○ 活動をする。 ○ 入浴をする。 ○ 就寝準備をする。 ○ 起床し、朝の準備をする。 ○ 退所式をする。 5 宿泊学習を振り返る。	技：一人で入浴や就寝の準備をすることができる。 思：楽しかったことや出来事を絵や文で表現し発表できる。	技：一人で入浴や就寝の準備をしたり友達に教えたりすることができる。 思：楽しかったことや出来事を短い文で表現し発表できる。	技：教師と一緒に入浴や就寝の準備をすることができる。 思：写真を見ながら、活動内容を発表できる。	技：教師の言葉掛けで入浴や就寝の準備をすることができる。 思：写真を見ながら楽しかったことや出来事を発表できる。	14
		技：一人で就寝の準備をすることができる。 思：楽しかったことや出来事を絵に表し、発表できる。	技：衣服の整理をすることができる。 思：楽しかったことや出来事を友達の前で発表できる。	技：一人で入浴や就寝の準備をすることができる。 思：楽しかったことや出来事を絵日記に表し、発表できる。	技：時間を確認し、5分前行動をすることができる。 思：楽しかったことや出来事を理由を付けて発表できる。	

6 本時（5 / 26）

(1) 目標

写真で昨年の様子を振り返ったり具体物を見たりしながら必要なものを考え、理由を付けて発表することができるようにする。

(2) 評価規準

A (2年) 思：活動の内容や経験を基に準備する物を考え、発表している。	B (2年) 思：経験を基に準備する物を考え、発表している。	C (5年) 思：活動の写真を見ながら「活動に必要なものは何か。」教師の問い掛けに答えている。	D (6年) 思：これまでの経験や活動の写真から必要な物を考え発表している。
E (1年) 思：写真を基に準備する物を考え、発表している。	F (1年) 思：写真を基に準備する物を考え、答えている。	G (2年) 思：経験を基に準備する物を考え、発表している。	H (5年) 思：2日間に共通して準備する物を考え、自ら発表している。

(3) 指導に当たって

導入では、前時の学習を振り返り、宿泊学習で楽しみにしていることを想起することで子どもが本時の活動に意欲をもって取り組むことができるようにする。展開では、まず、少人数のグループで話し合う場面を設定することで子ども一人一人が自分の考えを発表できるようにする。次に、「見える図」を活用し判断の基準や視点を明らかにすることで、教師と一緒に準備する物について考えることができるようにする。終末では、子どもの実態に応じてチェックシート等を活用し自己評価や相互評価を行うことで、本時の自分の活動を振り返ることができるようにする。

(4) 本時の展開 [] 子どもの意識 □ 指導の手立て ※評価

過程	時間	主な学習活動と指導の手立て	
導入	10	1 前時の学習を振り返る。 (・日程の確認をしたよ。 ・7月9日と10日に行くんだよ。 ・サイクリングが楽しみなよ。)	前時の学習を振り返り、楽しみにしていることを想起することで、本時の活動に意欲をもって取り組むことができるようにする。
		2 本時のめあてを確認する。 しゅくはくがくしゅうに もっていくものをかんがえよう。	展開において、本時で「すること」を短く子どもが分かりやすい言葉で確認を行うようにすることで、子どもが見通しをもって活動に参加できるようにする。
		3 「すること」の確認をする。 (1) 先生が準備した物を見る。 (2) グループで持っていく物と持っていない物に分ける。 (3) みんなで持っていく物を確認する。	昨年の活動の様子の画像を提示して、それぞれの活動に必要な物を想起したり考えたりできるようにする。
展開	25	4 グループに分かれて、持っていく物と持っていない物を「見える図」で表し、整理する。 (・石けんやシャンプーが必要だね。 ・新しい下着やパジャマに着替えるよ。 ・ゲームやお菓子はいらないね。 ・タオルがあったらいいな。)	「見える図」を用いて、思考を整理していくことで、子どもが教師と共に必要な物について考えることができるようにする。
		5 持っていく物の必要性を話合う。 (・石けんやシャンプーはおふろに入るときに使うから必要です。 ・暑いと汗をかくからタオルが必要ですよ。 ・みんなが持っていく物について確認をする。(発表タイム) (・必要なものがたくさんあるね。 ・タオルは、おふろの時もサイクリングの時も使うね。 ・おふろに入るときは、必要なものがたくさんあるね。)	※ 具体物や経験を基に、活動に必要な物を考えることができる。 ○ できた子どもには、「よくできたね。」等の言葉掛けを行い、自信につながるように子どもの活動を称賛する。 ○ 思い付かない子どもには、写真を見せて「何を使っているかな。」と問い掛け、考えることができるようにする。
		6 本時の学習を振り返り、次時の学習を確認する。 しゅくはくがくしゅうで もっていくものをじぶんで じゅんび しよう。	次時の学習内容を学習計画表で確認することで、子どもが見通してをもてるようにする。
終末	10	8 今日の学習をチェックボードで振り返り、発表する。 (・持っていくものがわかったから3つ丸をつけよう。 ・〇〇さんの説明は、とても分かりやすかったです。)	チェックシート等で、「のびるちゃんメーター」に丸印を書き、自己評価をしたり相互評価をしたりすることで活動における自分の姿を振り返ることができるようにする。

特別支援